

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年11月10日

【四半期会計期間】 第94期第2四半期
(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船 越 義 和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐 塚 眞 弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐 塚 眞 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第93期 第 2 四半期 連結累計期間	第94期 第 2 四半期 連結累計期間	第93期
会計期間	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成28年 3 月31日
売上高 (千円)	9,962,862	9,825,854	19,312,581
経常利益 (千円)	584,831	522,179	958,083
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	385,925	378,428	623,732
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	61,024	89,318	42,120
純資産額 (千円)	15,802,863	15,734,130	15,887,482
総資産額 (千円)	22,187,649	22,282,340	22,510,903
1 株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	14.37	14.09	23.23
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	70.1	70.9	69.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	834,332	252,034	1,452,988
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	130,386	148,468	347,926
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	239,042	239,397	482,265
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,652,919	2,965,839	2,808,436

回次	第93期 第 2 四半期 連結会計期間	第94期 第 2 四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年 7 月 1 日 至 平成27年 9 月30日	自 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年 9 月30日
1 株当たり四半期純利益金額 (円)	7.48	8.19

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政及び金融政策を背景に雇用・所得環境が改善し、景気は総じて緩やかな回復基調にあるものの、円高の進行により企業収益の改善が停滞するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

精糖業界においては、海外原糖相場の高騰や加糖調製品、異性化糖及び他甘味料の浸食などにより、厳しい販売環境が続いております。

この様な環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高め、砂糖では製品の安定供給に取り組んでまいりました。また、機能性食品は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,825百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益442百万円（同26.9%減）、経常利益522百万円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378百万円（同1.9%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、5月の大型連休を控えた需要により順調に推移いたしましたが、夏場の猛暑や大雨、台風の影響により、販売数量は前年同期を若干ながら下回りました。さらに、コスト面では海外原糖相場の高騰により、製造コストが上昇いたしました。

以上の結果、精糖事業の業績は、販売数量は減少したものの販売単価が上昇したことにより、売上高6,217百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益690百万円（同2.1%減）の増収減益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、新規採用やタイ産イヌリンへの切り替えは引続き順調に増えているものの、既存の大手ユーザー向けの販売数量が伸び悩んだことにより減収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品のゼラチンで低調な荷動きとなったことやO E M事業の数量減などにより減収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高3,256百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失50百万円（前年同期営業損失14百万円）の減収減益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、売上高300百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益267百万円（同2.7%増）の増収増益となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品は、DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.の製パン事業であります。前期末に連結子会社となったため、前年同期比較は省略しております。当第2四半期の業績は売上高51百万円、営業損失54百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.0%減少し、22,282百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、9,673百万円となりました。これは主に現金及び預金、原材料及び貯蔵品の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ4.7%減少し、12,609百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる建物及び構築物、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.6%増加し、4,111百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ4.0%減少し、2,436百万円となりました。これは主に役員退職慰労金制度廃止に伴う役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.0%減少し、15,734百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、非支配株主持分が減少したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、2,965百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、252百万円（前年同期比69.8%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、148百万円（前年同期130百万円支出）となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、239百万円（前年同期比0.1%増）となりました。これは主として、配当金の支払額による支出等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、28百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2-1-1	8,153	27.40
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	2,459	8.26
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,902	6.39
和田製糖株式会社	東京都中央区新川2-9-1	1,226	4.12
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	758	2.54
小倉運輸有限会社	神奈川県横浜市神奈川区菅田町2334-1	669	2.24
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	600	2.01
株式会社サカタのタネ	神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1	563	1.89
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
計		17,570	59.06

(注) 上記のほか、当社は自己株式 2,895千株(9.73%)を所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,838,500	268,385	
単元未満株式	普通株式 14,000		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,385	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,700		2,895,700	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,485,325	2,664,909
受取手形及び売掛金	2,402,539	2,414,344
有価証券	323,111	300,929
商品及び製品	1,612,323	1,678,058
仕掛品	204,095	175,020
原材料及び貯蔵品	945,201	1,137,547
その他	1,315,968	1,305,947
貸倒引当金	3,620	3,517
流動資産合計	9,284,945	9,673,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	969,309	794,000
機械装置及び運搬具（純額）	1,370,199	907,052
土地	2,048,834	2,046,860
建設仮勘定	38,599	80,306
その他（純額）	97,010	113,799
有形固定資産合計	4,523,952	3,942,019
無形固定資産		
のれん	512,640	453,293
その他	76,023	84,856
無形固定資産合計	588,663	538,149
投資その他の資産		
投資有価証券	5,805,342	5,795,613
関係会社長期貸付金	2,078,347	2,098,326
その他	267,457	266,482
貸倒引当金	37,806	31,491
投資その他の資産合計	8,113,341	8,128,930
固定資産合計	13,225,958	12,609,099
資産合計	22,510,903	22,282,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,451,251	1,578,273
短期借入金	1,296,387	1,311,901
未払法人税等	317,892	309,378
賞与引当金	104,783	108,001
その他	915,418	804,115
流動負債合計	4,085,732	4,111,670
固定負債		
長期借入金	1,258,468	1,176,611
役員退職慰労引当金	172,354	-
退職給付に係る負債	59,102	59,589
資産除去債務	64,686	65,009
その他	983,076	1,135,328
固定負債合計	2,537,688	2,436,539
負債合計	6,623,420	6,548,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,773,108	10,909,862
自己株式	716,921	716,978
株主資本合計	14,110,817	14,247,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525,527	1,500,282
為替換算調整勘定	93,726	85,004
退職給付に係る調整累計額	42,712	38,768
その他の包括利益累計額合計	1,576,540	1,546,519
非支配株主持分	200,123	59,904
純資産合計	15,887,482	15,734,130
負債純資産合計	22,510,903	22,282,340

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	9,962,862	9,825,854
売上原価	7,722,483	7,671,304
売上総利益	2,240,379	2,154,549
販売費及び一般管理費	1 1,635,237	1 1,712,179
営業利益	605,142	442,369
営業外収益		
受取利息	20,939	18,425
受取配当金	32,856	40,244
持分法による投資利益	-	78,218
その他	21,151	21,496
営業外収益合計	74,947	158,385
営業外費用		
支払利息	18,139	16,656
為替差損	63,952	53,963
持分法による投資損失	6,919	-
その他	6,248	7,956
営業外費用合計	95,258	78,576
経常利益	584,831	522,179
特別利益		
固定資産売却益	-	143,959
投資有価証券売却益	1,770	121,047
特別利益合計	1,770	265,006
特別損失		
固定資産除却損	159	0
減損損失	-	338,081
投資有価証券評価損	-	12,736
特別損失合計	159	350,817
税金等調整前四半期純利益	586,441	436,368
法人税、住民税及び事業税	298,295	301,986
法人税等調整額	10,127	9,247
法人税等合計	288,167	311,234
四半期純利益	298,273	125,133
非支配株主に帰属する四半期純損失()	87,651	253,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	385,925	378,428

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	298,273	125,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278,831	25,244
為替換算調整勘定	80,908	14,514
退職給付に係る調整額	442	3,944
その他の包括利益合計	359,298	35,815
四半期包括利益	61,024	89,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,036	348,886
非支配株主に係る四半期包括利益	124,060	259,567

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586,441	436,368
減価償却費	168,000	201,547
のれん償却額	53,994	59,347
減損損失	-	338,081
賞与引当金の増減額(は減少)	4,002	3,218
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,912	6,417
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	22,830	172,354
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	6,170
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	11,595	-
受取利息及び受取配当金	53,796	58,670
支払利息	18,139	16,656
為替差損益(は益)	63,127	54,787
持分法による投資損益(は益)	6,919	78,218
投資有価証券売却損益(は益)	1,770	121,047
投資有価証券評価損益(は益)	-	12,736
固定資産除却損	159	0
固定資産売却損益(は益)	-	143,959
売上債権の増減額(は増加)	22,768	12,227
たな卸資産の増減額(は増加)	526,878	238,686
その他の流動資産の増減額(は増加)	2,520	15,119
仕入債務の増減額(は減少)	303,306	128,945
その他の流動負債の増減額(は減少)	19,648	73,212
その他	5,608	145,892
小計	989,124	514,077
利息及び配当金の受取額	78,345	61,589
利息の支払額	16,934	17,625
法人税等の支払額	216,202	306,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	834,332	252,034

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000	-
有形固定資産の取得による支出	57,097	143,711
有形固定資産の売却による収入	-	182,804
無形固定資産の取得による支出	1,700	20,265
投資有価証券の取得による支出	654	711
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,187	162,311
長期貸付金の回収による収入	506,722	500,170
長期貸付けによる支出	573,232	530,793
その他	16,611	1,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,386	148,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	182,310	45,600
長期借入れによる収入	-	54,112
長期借入金の返済による支出	179,097	97,379
自己株式の取得による支出	565	56
配当金の支払額	241,689	241,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,042	239,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,435	3,702
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	461,468	157,403
現金及び現金同等物の期首残高	2,191,450	2,808,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,652,919	¹ 2,965,839

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第2四半期連結会計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
 該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
 該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
南栄糖業(株)	83,142千円	83,142千円
FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd	27,633千円	25,208千円
(外貨建)	(8百万バーツ)	(8百万バーツ)

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
販売奨励金	194,320千円	196,697千円
販売手数料	69,808千円	69,736千円
貸倒引当金繰入額	494千円	102千円
運賃	295,654千円	285,553千円
役員報酬	78,319千円	73,232千円
執行役員報酬	67,752千円	64,823千円
給料手当	271,828千円	298,189千円
減価償却費	34,901千円	35,713千円
賞与引当金繰入額	84,146千円	89,816千円
退職給付費用	9,578千円	16,742千円
役員退職慰労引当金繰入額	11,920千円	5,575千円
租税公課	26,215千円	46,321千円
のれん償却額	53,994千円	59,347千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金	2,329,848千円	2,664,909千円
有価証券勘定	323,070千円	300,929千円
計	2,652,919千円	2,965,839千円
預入期間が3か月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	2,652,919千円	2,965,839千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月19日 取締役会	普通株式	241,689	9.00	平成27年3月31日	平成27年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 取締役会	普通株式	241,673	9.00	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,199,954	3,464,991	297,917	9,962,862		9,962,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高			827	827	827	
計	6,199,954	3,464,991	298,744	9,963,689	827	9,962,862
セグメント利益又は損失()	705,468	14,245	260,856	952,079	346,936	605,142

(注) 1 セグメント利益の調整額346,936千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,217,362	3,256,495	300,926	51,070	9,825,854		9,825,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高			827		827	827	
計	6,217,362	3,256,495	301,753	51,070	9,826,681	827	9,825,854
セグメント利益 又は損失()	690,410	50,101	267,994	54,417	853,886	411,516	442,369

(注) 1 セグメント利益の調整額411,516千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて338,081千円の減損損失を計上しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14.37円	14.09円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	385,925	378,428
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	385,925	378,428
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,853	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月9日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 羽 鳥 良 彰
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 山 田 円

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。